

5 紫黒米新系統「兵系紫75号」の育成

ねらいと成果

「むらさきの舞」は、紫黒米の梗米第1号として2002年に種苗登録され、現在、県下各地で約7ha栽培されている。当初、赤い酒の着色原料米として育種を行ったが、玄米果皮に含まれるアントシアニンの機能性の評価が高まり、パンや麺類健康飲料等の加工原料や食用米として利用が拡大している。しかし、「むらさきの舞」は長稈で倒伏しやすく、収量も低く、粒形もやや長いため、これらを改善し、より栽培適性の高い「兵系紫75号」を育成した。

内容

育成経過：1987年に、兵系カ43号を母に、育253-10（「むらさきの舞」の兄弟系統）を父に交配した。本年でF18世代である。

主な品種特性は、「むらさきの舞」に比べ、出穂期はやや早く成熟期は遅い。また、強稈で耐倒伏性が大きく、芒は短く、発生も少ない。さらに、収量は多く、品質では、玄米の形状は大粒、中長の形状を持ち、粒厚も著しく厚く、丸みを帯びており良好である。

「むらさきの舞」に比べ、外観で見た色調は均一

で濃く、色素の集積も良好で、色差計によるL値が低く、a値が高く色素含量も多い。葉いもちほ場抵抗性は、「むらさきの舞」に比べ、やや弱い。

普及上の注意事項

酒や麺類などへの加工適性について、また、食用米としての食味についても明らかにする必要がある。

本年度現地試験を計画している。有色米であることから、普通種に混入しないように、収穫・乾燥機械での混入や流れ苗・落ちばえ等に万全の注意が必要である。

三好昭宏（農業技セ・旧酒米試験地）

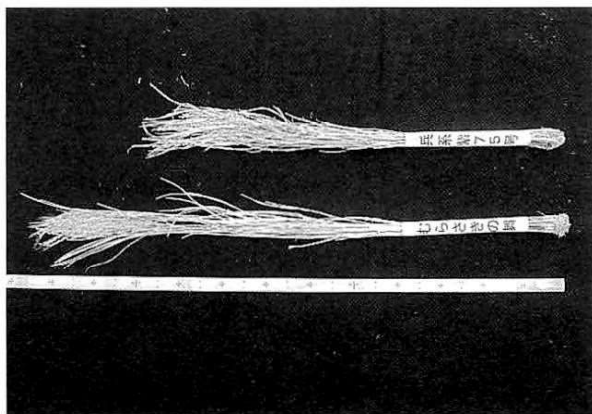


図 株標本（上；兵系紫75号、下；むらさきの舞）

表1 兵系紫75号の生育、収量

系 統 名 品 種 名	出穂 期 月日	成熟 期 月日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏 0-10	特検葉 いもち 0-10	精玄 米重 kg/10a	同左 比率 %
兵系紫75号	8.18	9.30	75	21.0	311	0.3	8.7	451	114
比)むらさきの舞	8.20	9.26	103	21.6	277	0.6	4.0	394	100

注) 生産力検定（2001～2004年）の平均値、6月中旬移植、施肥Nkg/10a；基肥4.0、穂肥（-20日）1.0

表2 兵系紫75号の千粒量、粒色および粒厚分布品質

系 統 名 品 種 名	千粒 重 g	玄米の粒色 色差計測定値			粒厚分布(重量%)							
		L 値	a 値	b 値	2.2mm	2.1	2.0	1.9	1.8	1.7	1.6	1.6mm
					以上	~2.2	~2.1	~2.0	~1.9	~1.8	~1.7	以下
兵系紫75号	27.3	17.2	3.3	0.8	42.1	24.9	18.8	7.2	3.5	2.5	1.1	0.7
比)むらさきの舞	26.1	18.1	3.0	1.1	0.1	6.8	29.9	38.0	16.1	4.5	2.2	2.6

注) 玄米の粒色は色差計で測定し、L値は明度を示し、大きいほど明るい。紫黒米では黒いほど数値は小さい。a値は+方向に赤、-方向に緑の度合いを示す。b値は+方向に黄色、-方向に青色の度合いを示す。